

水産物の市況について(令和元年11月及び12月)

—東京都中央卸売市場における令和元年11月(令和元年10月21日～11月20日集計)の市況と、
令和元年12月の市況見通し(前月との比較)—

I 令和元年11月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は、魚種によつては不漁等で減少しているものの、全体としては増加しており、卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は、やや弱含みに推移しました。

II 令和元年12月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

入荷量は、やや減少と見込まれるものの、魚のサイズが小さいこと等から、卸売価格は、やや弱含みと見込まれます。

「さけ・ます(塩蔵品・冷凍品)」

入荷量は、最需要期を迎えることから増加と見込まれるものの、シーズンの秋さけ漁は、昨年を下回る不漁で水揚げが少ないことから、卸売価格は、やや強含みと見込まれます。

「さば(生鮮品)」

入荷量は、三陸～常磐で漁獲が増えたこと等から、やや増加し、卸売価格は、やや弱含みと見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

入荷量は、減少と見込まれ、卸売価格は、かなり強含みと見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

入荷量は、減少と見込まれ、卸売価格は、やや強含みと見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

入荷量は、横ばいと見込まれ、卸売価格は、横ばいと見込まれます。

「かつお(生鮮品)」

入荷量は、大幅に減少と見込まれ、卸売価格は、かなり強含みと見込まれます。

「さんま(生鮮品)」

入荷量は、大幅に減少と見込まれ、卸売価格は、高止まりで横ばいと見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	11月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
元年	34	1,141	26	1,176	32	1,095
前年	34	1,116	34	1,063	39	1,101

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2:入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

(単位:円/kg、%)

	<u>東京都中央卸売市場卸売価格(概数)</u>			
	11月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	465	132	78	98
さけ・ます(平均)	925	100	82	96
(ぎんざけ塩蔵品)	999	106	91	103
(あきさけ塩蔵品)	972	122	108	114
(ときさけ塩蔵品)	1,458	124	94	123
(べにざけ塩蔵品)	1,242	98	80	100
(さけ類冷凍品)	864	97	79	94
さば(生鮮品)	598	106	127	125
するめいか(平均)	1,105	113	136	188
(生鮮品)	1,164	122	126	195
(冷凍品)	1,013	97	144	176
あじ(生鮮品)	654	96	135	127
さんま(生鮮品)	511	73	129	130
まぐろ(冷凍品)	1,524	99	101	100
(めばち冷凍品)	1,130	96	98	97
(きはだ冷凍品)	701	102	61	65
(くろまぐろ冷凍品)	3,205	98	93	89
(みなみまぐろ冷凍品)	1,964	101	98	97
かつお(生鮮品)	797	112	86	71

注1:品目により、市場で水産物の大きさ等が異なることから、主要な水産物の価格データを掲載。

注2:11月の価格は1～20日までの速報値を元に算出。平年とは平成26年～30年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ及びアトランティックサーモン

注4:さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6617 北川、長谷川、大和田

直通 03-3591-5612